

1. 件名：「島根原子力発電所 2 号炉の地震等に係る新基準適合性審査に関する事業者ヒアリング(140)」

2. 日時：令和 2 年 1 2 月 3 日（木） 1 6 時 0 0 分～ 1 8 時 1 0 分

3. 場所：原子力規制庁 9 階耐震会議室

4. 出席者（※：テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁：内藤安全規制調整官、江崎企画調査官、熊谷管理官補佐、
佐口主任安全審査官※、海田主任安全審査官、谷主任安全
審査官、服部主任安全審査官、千明主任安全審査官、菅谷
技術研究調査官、磯田係員、日南川技術参与
中国電力株式会社：電源事業本部 担当部長（電源土木） 他 8 名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

- ・ 島根原子力発電所 2 号炉 耐震重要施設及び常設重大事故対処施設の基礎地盤及び周辺斜面の安定性評価（コメント回答）
- ・ 島根原子力発電所 2 号炉 耐震重要施設及び常設重大事故対処施設の基礎地盤及び周辺斜面の安定性評価（補足説明）
- ・ 島根原子力発電所 2 号炉 耐震重要施設及び常設重大事故対処施設の基礎地盤及び周辺斜面の安定性評価（追加資料）
- ・ 島根原子力発電所 2 号機 コメントリスト（地震・津波関係）

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	原子力規制庁クマガエです。
0:00:04	それではこれより島根原子力発電所 2 号炉、
0:00:07	耐震重要施設及び常設重大事故等対処施設の基礎地盤及び周辺斜面安定性のヒアリングを始めます。よろしくお願いいたします。
0:00:20	中国電力のユリです。それでは資料を御説明させていただきたいと思います。まず資料確認からさせていただきます。今回資料 4 分、自己準備してございます。まず、右肩資料番号へとEP068 回 05 のコメント回答資料、
0:00:39	同じく右肩資料番号 068 法解 05 の補足説明資料、
0:00:45	右肩資料番号ぜ。ええとEP069 の追加資料。
0:00:49	最後コメントリストでございます。
0:00:53	はい、規制庁 4 セットあります。ありがとうございます。
0:01:00	中国電力ユリです。それでは資料に基づきまして御説明させていただきます。
0:01:05	説明は変更点を中心に御説明させていただきます。まず 5 ページをお願いします。
0:01:17	5 ページ 6 ページは評価概要を示した資料になってございます。前回ヒアリングでは、液状化する場合としない場合の液状化の方針について両論併記をしておりましたが、前回ヒアリングでの確認内容を踏まえまして、
0:01:33	液状化を考慮した滑り安定性評価のみ、この資料では記載するように修正しまして、全体構成見直してございます。
0:01:42	その関係で、こちらの評価概要ですが、まずこちらに赤字のほうで簡便法動的解析では、液状化を考慮する旨を赤字で追記してございます。
0:01:53	7 ページをお願いします。
0:02:01	7 ページは評価対象施設の一覧でございます。
0:02:04	耐震重要施設の一覧を赤ハッチ緑 8 でお示してございますが、右上の赤脇の米のところ記載をしております。
0:02:14	漂流物衝突荷重の設定方針の審査におきまして、1 号炉放水連絡通路を閉塞する方針としましたので、この内容を反映しまして、1 号放水連絡通路防波扉は津浪防護施設、過去耐震重要施設から除外することとしております。
0:02:33	以降の資料でも施設からこちらのほうは扉を除外しまして、ページの削除等の変更を行ってございます。
0:02:41	21 ページをお願いします。
0:02:49	21 ページは、基礎地盤の安定性評価の評価方針を示したものでございます。こちらも赤字で追記してございますが、評価対象施設の選定、評価対象断面の選定及び滑り安定性評価における簡便法動的解析では、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:03:06	地下水以深の埋戻し露頭の液状化によるせん断抵抗せん断強度の低下を考慮するように、方針を追記してございます。
0:03:15	22 ページをお願いします。
0:03:19	22 ページは基礎地盤の安定性評価の評価フローの全体概要を示してございます。
0:03:26	フローの二つ目でございますけれども、前回ヒアリングでは、液状化の要否の検討ということでフローを記載してございましたが、方針を、方針の見直しを踏まえまして、範囲の検討ということで改めてございません。
0:03:40	液状化を考慮する前提でその範囲を確認した上で安定性評価をしますと、そういったフローに見直しを行ってございます。24 ページをお願いします。
0:03:54	24 ページは先ほどご説明しました液状化範囲の検討について、示した資料になってございます。
0:04:03	一番上の箱書きでございますけれども、地下水位以深の埋戻し露頭につきましては、液状化によるせん断強度の低下を考慮するという事で三次元浸透流解析の結果、これ今までお示したものをお示してございますが、この結果を踏まえまして、
0:04:19	地表面付近まで地下水が上昇する 8.5m盤 15m盤につきましては、液状化を考慮することといたしております。
0:04:28	25 ページをお願いします。
0:04:35	25 ページと見開きの 26 ページにつきましては、液状化を考慮しました。滑り安全率の算定方法、まだ動的解析ということでお示してございます。
0:04:46	25 ページは以前からお示した内容でございますが、液状化の方針の変更、前回のヒアリングを踏まえまして、簡便法につきましては検討方法見直ししてございますので、25 ページから簡便法の記載を削除してございます。
0:05:04	また 26 ページにつきましては、前回ヒアリングでの事実確認内容を踏まえまして、動的解析における液状化した森度こちらのどうどう圧の考慮の有無について記載した資料ということで審議追加してございます。
0:05:20	下の箱書きに記載しておりますが、液状化したものにつきましては、こちら動的解析上は森尾としてモデル化を行っておりますため、施設背面の森どのドア凍土圧が施設に作用し、これに伴うせん断力が施設底面に作用しているような解析になってございます。
0:05:40	27 ページをお願いします。
0:05:47	こちらは液状化影響を考慮した滑り安全率の簡便法の算定方法を記載したものでこちらも前回ヒアリングを踏まえまして、新規追加指定している資料でなっております。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:00	上の箱書きには、見直しをする際に参照しました。一般的な手法ということで△言う方も記載をしております。
0:06:08	そして下の箱書きにつきましては、簡便法のほう手法見直ししておりますので、その見直した算定方法を記載しております。
0:06:17	まず、上の箱書きでございますけれども、道路土工軟弱地盤対策工指針平成 24 年度版では、液状化を考慮した簡便法の手法として△法という記載があります。
0:06:29	この△法ですが、下の二つの特徴がございます、一つ目として、地震時慣性力と液状化発生の時刻というものが異なるため、△法においては地震時慣性力を考慮しない手法となっております。
0:06:44	二つ目の特徴としまして、滑り面上もせん断力を考慮し、過剰間隙水圧比の上昇に伴いまして、せん断摩擦抵抗力の項を堅持できるような式になってございます。
0:06:57	箱書きの下側に入れる対応法の計算式を示しておりますけれども、黄色でハッチしている部分がせん断摩擦抵抗力の高になってございます。
0:07:06	こちらが過剰間隙水圧比の助成に伴いまして、小さくなるようになってございまして、最終的に過剰間隙水圧比が 1 になったときに、この項につきましてはゼロになるような計算方法になってございます。
0:07:21	この△方法を踏まえまして、下の箱書きでございますけれども、
0:07:25	企業が影響を考慮した簡便法につきましては保守的な評価の観点から以下の①から③の手法で検討を行います。
0:07:35	①としましては△法では考慮されてない地震時慣性力でございますが、こちらを保守的に水平鉛直方向ともに考慮いたします。
0:07:45	また、②番として手動領域でございますが、れる対法と同様に液状化範囲における滑り面上のせん断抵抗力のうち、せん断摩擦抵抗摩擦抵抗力につきましては保守的に考慮しませんが、せん断力は考慮するようにいたします。
0:08:03	最後③番で柔道領域につきましては、液状化範囲における滑り面上のせん断抵抗力を考慮しないようにいたします。
0:08:11	せん断力も得向きとしては抵抗側に作用することになりますことから保守的に考慮しないことといたします。
0:08:19	こちらの検討方法を踏まえまして再算定し直した結果を 43 ページにお示ししております。43 ページをお願いします。
0:08:33	43 ページはグループ用のグループ A の評価対象施設の簡便法の結果を示したものでございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:40	液状化があった液状化を考慮した場合の滑り安全率としなかった場合の滑り安全率を前回ヒアリングまでは併記してございましたが、こちらは液状化を考慮した設備安全率のみ記載するように変更してございます。
0:08:57	今回の結果、変更したところは赤字でお示しておりますが、液状化を考慮しなかった場合に比べまして、安全率が下がっていることを確認してございます。また、代表施設につきましては2号原子炉建物から変更がないことも確認してございます。
0:09:14	68ページをお願いします。
0:09:26	68ページはグループCの防波壁多重鋼管ぐい式擁壁の検討断面4断面から評価対象断面を選定した比較の一覧表になってございます。
0:09:37	こちらでも液状化を考慮した結果のみ掲載するように変更してございます。
0:09:44	評価対象断面につきましては変更ございません。7断面ということになってございます。
0:09:50	いずれも前回ヒアリングで資料化した液状化しない場合の滑り安全率をまた下回る結果になっていることを確認してございます。123ページをお願いします。
0:10:11	123ページ以降は136ページまででございますけれども、動的解析の結果を示したものでございます。こちらでも前回ヒアリング両論併記になってございましたけれども、液状化降量を液状化を考慮した滑り安全率のみ示すように変更してございます。
0:10:28	160ページをお願いします。
0:10:40	こちらから周辺斜面の安定性評価ということで、160ページは評価方針を示した後のものでございます。こちらでも赤字で記載してございますけれども、液状化を考慮した滑り安定性評価のみ実施する旨、基礎地盤と同様に記載してございます。
0:10:56	161ページをお願いします。
0:11:04	161ページは評価フローの全体概要でございますが、コストこちらでも基礎地盤と同様にフローの変更を行ってございまして大衆耐震重要施設等に影響する恐れのある斜面を網羅的に抽出した後、液状化範囲の検討を行うフローとしてございます。
0:11:22	165ページをお願いします。
0:11:31	165ページは基礎地盤と同様の液状化範囲の検討の資料でございます。
0:11:37	地下水以深のみ戻し指導等については液状化を考慮するというところで三次元浸透流解析の結果、2号炉南側森尾斜面ではのりじり付近に地下水が分布するということがわかりましたので、地下水の分布をより詳細に検討しまして、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:53	液状化範囲を 6.4 章のほうで検討することといたしております。
0:11:58	172 ページをお願いします。
0:12:09	172 ページはグループへの斜面の比較検討結果でございますが、冒頭御説明しました防波扉を対象児耐震重要施設から除外することに伴いまして、比較表のほうから 5 号断面、こちらの右側滑りが防波扉の周辺斜面になってございましたが、
0:12:28	こちらを削除いたしまして、その旨、米書きのほうで赤字で追記してございます。
0:12:35	また海側滑りにつきましては、簡便法の結果評価対象斜面に選定しておりましたが、こちらにも削除になりましたので、公団のモデルだったり解析結果につきましても削除を行ってございます。
0:12:48	198 ページをお願いします。
0:12:59	198 ページは先ほど申しました液状化範囲の検討ということで、評価対象斜面に選定されました 2 号炉南側森と斜面におきまして、液状化範囲の検討を行ってございます。
0:13:13	こちらは前回ヒアリングにつきましては両論併記ということで、液状化しない結果の後に別紙 5 として記載をしてございましたが、今回非液状化を考慮した安定性評価のみ記載することに変更いたしましたので、
0:13:28	解析条件の一つとして動的解析の結果の前に記載するように構成を見直してございます。
0:13:35	199 ページをお願いします。
0:13:42	198 ページが液状化範囲の検討フローということになってございますが、前回までのフローは、最後滑り安定性評価評価まで実施するプロセスになってございましたが、液状化範囲の設定を最終的な結論というフローになって変更してございます。
0:14:00	203 ページをお願いします。
0:14:10	203 ページは上上流側固定境界の範囲の設定方法について記載した資料でございますが、前回のヒアリングを踏まえまして、地下水の設定の審査で掲載している 204 ページの左側のほうに旧地形を示しておりますが、
0:14:27	こちらを確認しました結果、実際のタニムの合流点は、この図で言うと、小さく①番と書いておりますが、この辺りを我々が以前示していたものより下流にあることから、
0:14:39	このあたりにつきましては我々が水位を求めたい計算領域にもなりますので、流域からの修正に関する資料、こちらを取り下げさせていただきまして、固定境界の範囲の設定方法について再整理してございます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:54	再整理の結果、考え方を 203 ページに記載してございますが、箱書きに記載してございますが、ポツの一つ目のところで、もう二度と旧地形の境界部において水稲固定境界を地表面に設定した旨を赤字で追記してございます。
0:15:10	またその設定にあたっては、前回費でヒアリングで記載しておりました水路の状況に加えましてポツの二つ目のところに赤字で記載しておりますが、タニ筋における相当の確認結果も踏まえまして、総合的に検討してございます。
0:15:27	204 ページ、お願いします。
0:15:33	204 ページは上流側水位と固定境界の考え方を詳細に記載してございますが、Aポツの一つ目で森野内の地下水位を解析により求める目的から地表面における森同吸気系の境界部に体会とに設定したということで、
0:15:48	右側に断面図を五つを示してございますが、この真ん中の断面、こちらは 2 号炉南側青森の断面になりますが、
0:15:57	この赤丸で示しているところについてここで境界の北端を設定してございます。
0:16:04	この妥当性の確認ということで、旧地形におけるタニ部をタニ 5 通る 4 断面ということで、左側の平面図に青線でタニ部の線を記載してございますが、
0:16:15	こちらで 4 断面を作成しまして、右側のほうに茶色の方でハッチングしました森泥の分布ということでお示してございます。
0:16:25	こちらと、真ん中の 2 号炉南側森尾断面を比較しました結果、2 号炉南側も里道断面におけるもりど旧地形の境界部が最も北側に位置しておまして、
0:16:38	上流側と固定境界の設定範囲が保守的であることを確認してございます。
0:16:43	森の旧地形の境界部ということで、赤線を引っ張ってございますが、だ各断面を比較しましても、2 号炉南側盛り度が最も前川北側に位置していることが確認できるかと思えます。
0:16:55	205 ページをお願いします。
0:17:03	205 ページはタニ数字の確認結果ということで、まず、現在も里道施工して旧地形が確認できない範囲におきまして、それは赤線で示してございますけども、森尾世界施行前に撮影した空中写真を確認した結果を示してございます。
0:17:20	2 号炉南側思い土砂面及びその斜面周辺の埋戻範囲におきまして、この写真を見ますところ、大きな差はでございましたり河川は認められないといった結果になってございます。
0:17:33	206 ページをお願いします。
0:17:38	206 ページは現在でも確認できる状況ということで、背後の係留こちらを状況確認した結果を示したものでございます。
0:17:47	写真を何枚かおつけしておりますけども、こちらはそれぞれの谷筋のところ、溪流の谷筋のところの写真をおつけしてございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:56	有するにつきましては確認されたものの、その数量につきましてはわずかでございます。大きな差はございません。河川ではないことを確認してございます。
0:18:06	また、この渓流水につきましては、構内排水量を通りましてはには排水されるようになっておまして、森土砂目のほうには融資内容になってございます。
0:18:16	107 ページから 209 ページにつきましては、先ほど申しました水路等の状況を示したものでございますが、前回ヒアリングから変更ございません。210 ページをお願いします。
0:18:34	こちら少し水道固定境界の内容煩雑になりましたので、範囲設定の考え方ということで、まとめの資料に 110 ページに新規追加してございます。
0:18:45	214 ページ、お願いします。
0:18:55	214 ページは、ナンバー7 の地下水観測孔につきましては、日最大 24 時間降水量等へ地下水の結果を整理したものでございます。
0:19:07	こちら前回ヒアリングでは、グラフの縦軸でございますけれども、水位上昇量となっておりましたが、記載としてかなりわかりにくかったこともありましたので、右下の※書きに記載しておりますが、水位上昇量に観測最高地下水 7.97 を加え、
0:19:24	TP表示で縦軸を修正してございます。
0:19:27	この修正に伴いまして若干正の傾きでございましたり、相関係数が変わってございますがいずれも軽微な変更になってございます。
0:19:36	223 ページをお願いします。
0:19:44	失礼。失礼しました、218 ページをお願いします。
0:19:53	218 ページは追加側溝についてお示した資料になってございますが、前回ヒアリングを踏まえまして、赤字のほうで、自主設備としてということで位置付けを明記してございます。また後ろのまとめの書いた資料からも追加観測孔については、
0:20:09	関わる記載を削除してございます。
0:20:13	223 ページをお願いします。
0:20:21	223 ページは液状化範囲の設定の結果を示した資料でございますが、こちらの段目で赤 8 で示しております、過剰間隙水圧 0.95 以上のを重ねた範囲につきまして、保守的に記録範囲として設定する旨を記載してございます。
0:20:41	228 ページをお願いします。
0:20:49	228 ページは 2 号炉南側も里道斜面の動的解析の結果を示してございますが、液状化を考慮した滑り安全率のみ示したように変更してございます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:59	こちらの 228 ページの滑り面 1 につきましては、液状化範囲を通らない滑りということで、次の 229 ページに滑り面の 3 を示してございますが、こちらは液状化範囲を通る滑り面ということでお示してございます。
0:21:15	また 229 ページの右側の方見ていきよう右側を見ていただきたいんですけども、こちら有効応力解析の応力状態を用いた滑り安全率ということで、今回追加で算定しましたので、結果を示してございます。
0:21:31	この滑り安全率の算定に当たりまして、その検討方法※4 ということで、資料の一番下側に記載してございます。
0:21:41	こちらが 1 点、訂正がございまして、検討方法のポツの一つ目のところで枕詞に 1 度でもと記載してございますが、こちら誤記でございますので削除して訂正させていただきたいと思っております。
0:21:56	検討方法につきましては、過剰間隙水圧比が 0.95 を超えた要素につきましては、液状化は生じたものとみなしまして、滑り面上のせん断抵抗力を 0 といたします。
0:22:09	またセンターの強度につきましては、
0:22:13	もう配置の構造成立性の審査において用いられている強度を使用してございます。
0:22:18	結果をあわせて安全率 1.43 ということで、手法自体が全応力解析と異なりますので全く同じ滑り安全率になっておりませんが、液状化を考慮した全応力解析の滑り安全率と、概ね同等といえるような結果になってございます。
0:22:34	以上が本編資料でございます。続きまして、補足説明資料のほうを御説明させていただきますと思います。
0:22:47	162 ページをお願いします。
0:22:59	162 ページから 164 ページにつきましては、2 号炉南側もリード社名の応力状態を示した失敗になってございますが、こちら液状化の方針変更に伴いまして、液状化範囲を考慮した滑り面 3 の最初形成につきましては、
0:23:15	応力状態の資料を差し替えてございます。
0:23:22	170 ページをお願いします。
0:23:31	170 ページからが 7 億超ということで、滑り安全率の一覧表を示してございます。235 ページまでが 1 になってございますけども、こちら本編資料に対応するように見直しを行ってございます 179 ページをお願いします。
0:23:52	179 ページの 2 号炉 a 原子炉建物南北断面につきましては、前回のヒアリングでお示しました液状化しない場合の滑り安全率の一覧を示したものでございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:05	本編、こちらの安全率一覧につきましては、本編で示している液状効率滑り安全率の一覧の後につけるようにしてございますが、その掲載理由を 179 ページの上の箱書き例を示してございます。
0:24:20	詳細設計段階におきまして、設計地下水位が低下した場合でも滑り安定性が確保できることを確認するためということで、液状化を考慮しない場合の滑り安全率につきましても念のため記載をしてございます。
0:24:34	ほかの断面につきましても同様の対応を行ってございます。
0:24:38	246 ページをお願いします。
0:24:52	246 ページにつきましては、本編のNo.7 の観測孔と同様に日最大 24 時間降水量等地下水の関係を整理した結果でございます。
0:25:04	整理しました結果としましては、ポツの二つ目、記載してございますが決定係数が決定係数が 0.66 程度と相関が低いといった結果になってございます。
0:25:15	なおNo.6 につきましては、左側の断面図でお示しております通り下流側水位と固定境界の範囲内でございまして、その地下水の高さは、解析上地下水地表面に設定しております、保守的な設定となっております。
0:25:32	307 ページをお願いします。
0:25:43	307 ページからが 11 章ということで、地震による森土砂斜面の崩落事例について整理しましたので、2 号炉南側森の断面と比較を行ってございます。
0:25:55	まず、307 ページは、その抽出方法ということでNUCIAから以下の五つの地震を対象にしまして、すべての原子力発電所における斜面の崩落事例ということで抽出してございます。
0:26:09	着手された結果でございますけれども、柏崎刈羽の原子力発電所のどうしてば斜面が抽出されましたので、東京電力の方から情報収集を行いまして、2 号の南側青森の斜面との比較を行ってございます。
0:26:25	308 ページを見ます。
0:26:31	まず、どうしても崩落事例で月おりありますけれども、森土砂斜面でございまして、新潟県中越沖地震時に下側の図で示しておりますけれども白丸で示すところ、こちらの展望台付近で表層崩壊が発生しております。
0:26:48	しかしながら崩落土砂につきましては、のりじりまでは到達せ斜面部にとどまっていたといった状況でございます。
0:26:57	309 ページをお願いします。
0:26:58	きます。
0:27:02	309 ページにつきましては、崩壊した斜面の下か下側から望まないぐらいの写真になってございます。茶色くなっているところが崩壊土砂になってございますけれども、斜面部にとどまっている状況がおわかりいただけるかと思います。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:18	310 ページをお願いします。
0:27:23	310 ページは、地形図のほうに包絡場所をお示したような資料になってございますけども、赤色でハッチ示しております通り権力湿気見学者用の展望台となっている張り出し部の付近で表層崩壊が発揮接しております。
0:27:41	311 ページをお願いします。
0:27:46	以上の情報に島根サイトの 2 号炉南側青森の斜面と比較してございます。
0:27:51	2 号炉南側森尾斜面につきましては、タニ夢の森の斜面になってございまして側面抵抗が期待できるような斜面になってございます。
0:28:01	また、耐震重要施設等の周辺斜面に位置する斜面になってございます。
0:28:07	一方で柏崎の中央度捨て場につきましては、平面的な張り出し形状でございまして側面抵抗がないような地形形状になってございます。
0:28:17	また耐震重要施設等の斜面周辺斜面ではございません。
0:28:21	このような比較結果でございませけれども、ここには結論を明確に記載できておりませんが、次の資料のほうで記載をしようと思っておりますけども、島根サイトより斜面高さ、勾配地形の面でも厳しい柏崎の森土砂斜面につきましても、
0:28:39	楽だし、土砂が斜面内にとどまるような結果になってございますので、間接的に島根サイトの森と斜面の安定性を確認できたと考えております。
0:28:52	続きまして、右肩、EP069 の追加資料につきましてご説明させていただきます。
0:29:00	めくっていただきまして 1 ページをお願いします。
0:29:05	1 ページ以降に絵を示してございますのが 8 台 872 回審査会合 7 月 7 日に開催されたものでございますが、
0:29:14	こちらの地下水の設定の審査会合資料をそのまま抜粋して計算してございますが、こちら内容をかいつまんで御説明させていただきたいと思っております。
0:29:25	18 ページをお願いします。
0:29:28	18 ページは三次元浸透流解析の解析モデルをお示したものでございます。
0:29:35	このような三次元の知見をモデル化しまして、左下に書いてある 12 号エリアと右下の 3 号炉エリアそれぞれ別々のモデルで解析を行ってございます。
0:29:47	19 ページをお願いします。
0:29:53	19 ページは解析モデルの設定方法でございませけれども、青色でハッチングしました不透水層、そして赤色で示して設定しました難透水層ということで、施設の状況を踏まえてモデル化してございます。
0:30:08	26 ページをお願いします。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:12	26 ページは三次元浸透流解析の設定条件をお示したものでございますが、条件を黒い色の点線で囲ったものでお示してございます。
0:30:25	ポツで二つ記載してございますけども、まず降雨条件としまして、年間降水量として 2400mmを設定いたしております。こちらにつきましては後程詳細に御説明します。
0:30:37	ポツの二つ目ということで、地下水位低下設備過去既設のもの機能を期待しないような解析になってございます。
0:30:47	27 ページをお願いします。
0:30:55	27 ページは参考浸透流解析の結果地下水コンターを示したものでございまして、こちらは本編資料のほうにも抜粋で何度かお示してあるものでございます。
0:31:06	55 ページをお願いします。
0:31:13	55 ページは敷地の水文環境ということで、左下にお示してございますが、こちらの旧地形A発電所建設前の旧地形でございますけども、こちらを踏まえましてモデル化を行いまして、赤線でお示してございますが、
0:31:28	こちらの分水嶺の範囲でモデル化を行ってございます。
0:31:33	56 ページをお願いします。
0:31:41	こちらを高の設定条件について詳細にお示した資料になってございます。
0:31:46	ポツも二つ目に記載してございますが、気象庁松江地方気象台の過去 78 年間の年間噴い降水量の記録に基づきまして、年間降水量の平均値ばらつきを考慮して設定してございます。
0:32:00	年間降水量が平均値は左下の表の上から二つ目にお示してございますが、1880 ミリ、/年でございます、こちらに標準偏差の 283mmを加えまして、4 σ ということで、
0:32:16	20021163mmになります。
0:32:19	これに将来的な増加量ということで、気象庁が報告しております。温暖化を踏まえました。年間降水量の増加量を足しまして、保守的に丸め丸めて 2400mm ということで好条件を設定してございます。
0:32:36	66 ページは透水係数ということで解析条件に設定しておるものでございますが、こちらは本編資料のほうにも記載をしているものでございます。
0:32:46	以上で説明を終わりたいと思います。
0:32:52	規制庁クマガエです。はい。ご説明ありがとうございました。
0:32:56	そんなちょっとその説明いただいてないところについて、
0:33:00	一つちょっと確認、さっきの最初のほうから確認させてもらいたいと思いますけれども、
0:33:08	7 ページのところでは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:10	一部放水炉のところについては評価対象から外すということで、これ以降の資料についてはそれぞれ
0:33:16	そちらの対応については特に記載をしせずに、
0:33:21	落としていくというようなことで考え方を伺いました。
0:33:28	それで、
0:33:29	21 ページのところでは基礎地盤のところ、
0:33:35	基礎地盤のところについても書いてありますけども地下水以深の埋戻し同等の液状化によるせん断強度の低下を考慮するというので最初から
0:33:44	液状化を考慮するという形ですらないとかっていう話ではなくてですね、もう
0:33:49	それということを前提に、
0:33:51	その後と
0:33:52	評価フローにおいても、考え方を整理して、
0:33:55	評価していくというような考え方も、
0:33:58	御説明いただきました。
0:34:03	それでちょっと確認したいの 27 ページのところ、
0:34:07	今回新たに
0:34:09	資料を追加してもらったところなんですけれども、
0:34:12	簡便法のところで、
0:34:14	Δ 法というものです。
0:34:17	用いて評価すると。
0:34:19	東垂示されてますけど、これは Δ 方法そのものを
0:34:24	簡便法で用いてやってるのか、 Δ 法
0:34:29	が、を踏まえてですね。
0:34:32	一部御社としてのやり方を
0:34:35	整理して、下の表のような記載ぶりをしているのか。
0:34:40	同じ、全く同じなのか、一部違うところがあるのか、そこら辺について説明を願いたい。
0:34:50	中国電力のユリです。おっしゃった簡便法の算定方法でございますけども、結論としましては、デルタいう方法を踏まえまして、中国電力独自の方法で整理をしております。
0:35:04	具体的に申し上げますと、右側の図のほうにイメージ図ということでお示してございますけども、柔道領域のところせん断力考慮しないせん断抵抗力考慮しないということで、こちらは保守的な設定になってございます。
0:35:20	また

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:22	下の箱書きの①番のところ、地震時慣性力を考慮するようになってございますが出たい方は考慮しないようになっておりますので、こちらに差異がありません。以上です。
0:35:38	規制庁クマガエです。はい等ございます。
0:35:40	ではその一部で大砲から保守的な考え方を
0:35:44	設定して本社として。
0:35:46	解析を行っているところのやり方については以前から同じやり方でずっとやっているのか、今回新たに用いるようにはしたのか。
0:35:56	ちょっとそこ、すみませんちょっと確認し切れなかったのもう一度お願いします。
0:36:05	中国電力の言うてございますが、前回ヒアリングから手法を変更しまして、今回初めて 27 ページの簡便法の算定方法で計算を行っております。以上です。
0:36:18	規制庁クマガエです。
0:36:20	はい、御説明ありがとうございます。では、
0:36:23	前回のヒアリングのデータからは変わってないんですけども、
0:36:30	だから、
0:36:32	審査会合のデータからは数字変わってますけども、前回のヒアリングのときに数字が変わって、今回は、
0:36:39	前回から変わってないということで、それと前回のヒアリングからも変わったということでしょうか。
0:36:48	中国電力のユリです。説明が悪くて申し訳ございません。前回のヒアリングから数字が変わってございます。
0:36:54	以上です。
0:37:02	はい、規制庁クマガエですはいございまして御説明ありがとうございます。
0:37:13	あと液状化の
0:37:16	考え方として、
0:37:19	195 ページのところ、ちょっと飛びますけども、
0:37:27	斜面のほうで時装置盤今先ほど基礎地盤の話ありましたけども、斜面の
0:37:34	液状化の考え方としては 195 ページにあります通り、
0:37:39	液状化の
0:37:41	範囲については、
0:37:46	滑り段
0:37:47	滑り面上のせん断力及び先端でこれを 0 として扱うと。
0:37:52	いうふうにされていて、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:58	実際に
0:38:04	液状化の評価のところについてはその斜面のところについては、
0:38:10	実際どこら辺までが液状化するのかっていうのを新たに確認するという ことで、ちょっと基礎地盤と斜面でやり方はちょっと変わってるということ でよろしいですか。
0:38:25	中国電力のユリです。基礎地盤と斜面、それぞれ液状化のやり方は同じで ございます。やり方として異なるの側の動的解析と簡便法でやり方が異なっ てまして、ちょっとそちらを詳細に御説明させていただきたいと思いま す。
0:38:43	26 ページをお願いします。
0:38:52	26 ページには動的解析のイメージ図ということでトレーとして防波壁の増使 って御説明してございますが、前回のヒアリングで道道圧の考慮といった事 実確認内容ございましたので、
0:39:08	こちらを説明してございます。
0:39:12	結論としましては動的解析は御説明しました通り、当液状化を考慮する際 にもおりるとしてモデル化したもので応力計算やっておりますので、
0:39:23	森どの動圧が滑り面に作用するような計算方法となっております。
0:39:30	そういった観点から、右側の点線に書いておりますが、滑り面上のせん断 力、せん断抵抗力は今まで通り0とするということで整理を行ってござ います。
0:39:43	この動同圧にを考慮するにあたって簡便法なんですけどもそれを27 ペ ージにお示してございまして、そもそもちょっと動的解析と簡便法手法自 体は異なりますので同じような方法は取れないんですけども。
0:39:57	どんどん圧を作用させることがちょっと難しいんですけどもそれにかわる ようなものとして、右側の図にございますけども、摺動側のせん断力につ いては、今までの安全かヒアリングまでの簡便法では考慮してなかったん ですけど。
0:40:12	この指導領域に書いてある赤線の実線ですね、こちらを今回ヒアリング で新たに考慮するようにしまして計算をし直してございます。
0:40:23	以上でございます。
0:40:28	はい、規制庁クマガエですご説明ありがとうございます。
0:40:31	ちょっと詳細なのはまた別途にして、
0:40:35	ちょっと先のほう確認させていただきますと、
0:40:45	この斜面のところですね。
0:40:47	203 ページのところ、
0:40:51	斜面の液状化評価のところ、
0:40:53	上流側のそれと固定境界の範囲の設定の考え方についても、
0:40:57	一部考え方を変更させて変更されたということで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:05	タニ数字の差は河川の状況ですとか、排水炉の設置状況、
0:41:11	表面方向の設置施工状況も踏まえて総合的に検討されたと。
0:41:15	いうふうにされてるんですけども、それぞれ
0:41:18	各
0:41:19	あなたについて範囲とかですね、
0:41:23	表明方向の状況とかを説明いただいたんですけどもそれらを踏まえて総合的に
0:41:29	ここに検討されたっていうふうな総合的に設定したときのその考え方っていうのはどれをどういうふうに考慮したのかっていうのはどっかまとめて記載されていれば教えてください。
0:41:43	中国電力の斎木です。
0:41:46	210 ページをお願いいたします。
0:41:54	こちら 210 ページの中段のほうに、上流側水稲固定境界の範囲ということでポツを二つ記載しております。
0:42:02	一つ目のポツでは先ほど来御説明しております通り考え方を見直しを行っておりまして、2号炉南が森の斜面の配合においてもリードと旧地形の境界を確認し、最も下流側に位置する
0:42:17	尾根部にもリード協会に上流固定境界を設定したということを記載しております。
0:42:22	この設定に当たりまして、なお書きのところで総合的に評価した内容で液位しております。
0:42:29	こちらの方、先ほど説明しました通り、注射針でのさわやか性の状況や、計経理っていう背後の係留の状況が構内排水量の状況、あと表面報告の状況ということを
0:42:44	補足的に確認いたしまして、これらすべてを総合的に評価したっていうことを二つ目のポツのほうに記載させていただいております。以上です。
0:42:56	規制庁クマガエです。
0:42:59	はい。
0:42:59	ではそのもの二度と休止地形の境界を確認して設定をされた上で、
0:43:05	それ以外の
0:43:07	項目についても、それぞれ確認をして、
0:43:09	総合的に検討されているという御説明
0:43:13	確認できました。
0:43:17	それとですね。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:27	この清潔追加先生が少し悪く、先ほどのこれからの御質問が聞こえにくかったんですが、もう一度お願いできますでしょうか。規制庁クマガエです。先ほど説明の中でですね。
0:43:38	旧地形と、
0:43:40	森泥層の境界部分で確認をしてそれ以外のところについてもきちんと総合的に検討を事業者としてしているという御説明
0:43:49	だったということで、
0:43:51	よろしいですか。
0:43:52	そうではなくて、同額にできませんでした。
0:44:00	中国電力の清喜です。今おっしゃっていただいたようなことを御説明させていただいたということです。はい。
0:44:10	ごめん規制庁ナイトウですけど、事業者さんの説明をする、そういう説明なの。
0:44:17	これ資料を読むと、
0:44:20	あくまでも守人のところを考慮する必要があるから戻っ境界を設定するというをまず確認した上で、そのところでもリード協会で十分問題がないのかどうなのかってことをいろいろと説明してるんじゃないの。
0:44:35	資料を読むとそういうふうに読めるんだけど。
0:44:43	中国電力の関です。すいません説明が悪かったかもしれませんが、今ナイトウさんがおっしゃっていただきました通り、まず、210 ページの中段の一つ目のポツですが、まずもリード協会で設定をしました。
0:44:57	ということを記載しております。そしてまたその設定の妥当性として、補足的にその周辺の状況も確認して設定が間違っていないという今負荷まだ保守的妥当的に整理があるということを確認したということでございます。以上です。
0:45:15	規制庁クマガエです。はい、すいませんご説明ありがとうございますあといただき
0:45:19	最後補足する補足説明資料の最後のところで、
0:45:24	molと斜面の崩落事例の比較ということでデータまとめていただきましたけども、これ最後のところで
0:45:32	評価がなくて、今後資料。
0:45:35	において追加しますとかっていうお話があったと思うんですけどそれは、
0:45:40	今、資料
0:45:41	提出されてないんだけども、追加で
0:45:44	評価結果を何かまとめた資料事業者など私鉄これから作られる予定だということでもよろしいでしょうか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:04	すみません、中国のユリでございます。大変失礼しました。孤独説明資料の311 ページのところの箱書きにですね、結論として、私が御説明したような内容を記載したいと考えております。以上です。
0:46:22	はい、規制庁クマガエです。はい。ご説明ありがとうございました。
0:46:28	私が概要は確認できましたので、
0:46:31	はい。
0:46:32	あと確認したいことがあればお願いします
0:46:34	すみません規制庁ナイトウですけど、今のね、KKのやつだけど、これ中越沖地震が発生が先でどういう規模の地震であったのかとかね。
0:46:47	どのぐらいの揺れがあったのかとか全然情報が入ってないんだけど、それちゃんと入れてください。我々知ってるからいいけど、
0:46:57	資料としているときに比較考慮として大きな揺れを受けた所大規模な斜面という例を出してきているんだから、大きな揺れを受けたってどのぐらいの揺れなの。
0:47:12	というのはちゃんと書かないと、何でこれを対象に比較対象にしたのかってのは、
0:47:18	資料上よくわからない。
0:47:20	その辺もちゃんときちんと記載をするっていいことですか。
0:47:31	中国電力の関です。記載が自分でありませんでしたの申し上げません。そっちいたしました地震規模について記載するようにいたします。
0:47:55	規制庁の伊藤ですけども、中越沖地震というのがどういうものだったのかって聞いている一つの発表とかあると思うんだけど、プラスこれ柏崎の敷地でどのぐらいなんかユリれましたっていうのも公開情報ですよ。そういうのをちゃんと入れてください。
0:48:14	中国電力の関です。承知いたしました。
0:48:19	結論は皆さん、もう一度、
0:48:23	書いてないんだけど、どういう結論にしていると考えてもう一度説明してもらっていいですか。
0:48:36	はい、中国電力のユリです。御説明したいと思います。100311 ページをお願いします。
0:48:45	311 ページ記載しております。ちょっと説明飛んだかもしれないんですけど下側のほうに断面で斜面高さだったり勾配も記載してございます。
0:48:55	こちらの斜面高さ勾配でございましたり、地形的な特徴としまして、柏崎のほうでは平面的な張り出し部があるってことで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:04	こういった地形の地形とか斜面高さ勾配の面で厳しい、柏崎のおりの斜面でも崩落土砂が崩落しても斜面内にとどまるような結果ということで、
0:49:15	間接的に島根サイトの森の斜面の安定性が確認できたというふうな結論を記載したいと考えております。
0:50:00	規制庁の伊藤ですけれども、
0:50:02	ユリとね。
0:50:04	休憩のやつって斜面の崩落ワンなかったっていう
0:50:11	ことになってるんじゃないんだっけ。
0:50:13	立派リブの部分について表層的な滑りはあったけれども、全体の崩落はなかったっていうのが東京電力の見解じゃないんですけど。
0:50:23	いや、皆さん今効力を進めるけれどもって言い方してるんだけど。
0:50:30	中国電力の清喜です。競争が一部というところで、そのことを包絡という表現でありました。307 ページの
0:50:43	308 ページのほうに表層崩壊が発生ということで記載している通りでございます。
0:50:51	以上です。
0:50:57	施設の後ですけども、いや、だから、例えば表層崩壊的な表層滑りしてるからそれを抜いて考えるっていうことなんだと思うんだけどで比較検討した結果としてどういう見解をもたれているってことなんですか中国電力として、
0:51:21	はい、中国電力の清水です。先ほど説明と熟しますけど、308 ページ見ていただければと思います。
0:51:29	所 308 ページは透過東京電力さんのオリジナルの資料でこの下に書いてあります通り、中越沖のときには、さっきナイトウさんおっしゃられたように、展望台付近で表層の崩壊が発生したと。
0:51:42	崩壊土砂はのりGまで達成する斜面Bと思っていたということなので、崩壊が発生していたということをですねちょっと言い過ぎだと思しますので、この言葉を適切にまずは、我々としては考えたいと思ってます。
0:51:58	データ結論につきましては、こういった表層崩壊、比較的大規模な斜面で大きな地震動を受けても、このぐらいの評価を表層する崩壊で終わっていたということを見ると島根サイトで見ると、それよりは、高さ、
0:52:17	それから守りどの締固め度とか、経常とか、そういうことを考えると島根サイトにおいてこの森土砂斜面がですね影響を受けるようなものではないというふうに考えてございます。以上です。
0:52:30	規制庁のエザキですけども、戒めさんでもおっしゃったのが
0:52:35	展望台付近の特殊なところ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:38	いわゆる
0:52:40	滑り安定性上ですね、滑りやすい。
0:52:44	経常示してるとこなんですよ。
0:52:47	そこを基本的に大府市までの
0:52:52	部分で経常的に一緒ですかってそういうことじゃないんだと思うんですよ。
0:52:57	どちらかというとするなかった部分も含めて総合的に判断した上で、
0:53:02	島根のものと防潮青い枠も里道はですね。
0:53:07	どのような地形でどのような物性値なので、
0:53:12	この自身も不地震動っていうかですねこれ中越沖の受けた地震がSsに多分、
0:53:18	相当するような結構時大きい地震だと思うんですかそういうことも含めて総括的に、
0:53:24	シミズのところは柏崎のところに安全包絡できているのかというか包絡できるような部分なのかどうか、実績の一つとみなしてもいいのかどうかという判断だと思うんですけど、その辺がですねちょっとまどろっこしいんですけど。
0:53:40	一部のところはどうかではなくて、全体的に考えたときに、
0:53:44	どういう評価をしているのかっていうのを我々としては聞きたいんですけど。
0:53:49	いかがでしょうか。
0:53:52	はい、中国電力シミズです。柏崎の資料ですべていたところにちょっと所包括当たり過ぎた説明になっていますので斜面全体としてどうだったのかというところですね、名と整理してですね、後、
0:54:08	まとめしまとめとして記載したいと思います。以上です。
0:54:43	町のエザキですか、少し私のほうから細かい話ですが、ちょっと事実確認しながら、そちらの説明でちょっと理解できないことが、
0:54:52	3点あって、まず 27 ページで言うと、
0:54:59	イメージ図ってありますよね。これイメージ図で行ったときに自動領域と言っているところの赤破線と緑破線
0:55:08	低間違った方向間違ってますか。
0:55:12	工学的に言うと、
0:55:14	窓販の低利でありますよね。
0:55:17	最後の 6 と反力って、
0:55:19	方向性が相反の定義からすると判定しますよね。
0:55:28	そういう意味で何かちょっとこれはキーに感じます。それはちょっと
0:55:34	だからこれを気持ちとしては、こうふうに
0:55:37	時実際的にはですね、起きるかもしれないけども、
0:55:42	このフラッシュ

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:43	ていたもので考えたときには、
0:55:47	シュゾウ領域も自動機も同じように、
0:55:50	同じ方向に変形してませんかってこと考えると、そういう説明じゃないんじゃないかと。でも実態的なイメージで言ってるのかもしれないですけど。
0:55:59	これ実態的な字で相当の観点で説明するのか、実際の釣銭使った解析ツールの結果、
0:56:09	から判断するのかっていうのがちょっとそこにありましたがってよくわかりませんってというのが一つ。
0:56:16	もう1点が、
0:56:18	△方っていうのは昔からあるんですけど。
0:56:25	これを使って計算しましたっていうのはそう説明だと思んですけど、下の箱書きの中で、③の中で、
0:56:33	状況、いわゆるこの③というのはその一番上の凸の液状化影響を考慮した関連法では状況を踏まえ、
0:56:42	以下の通り、安全率を算定するっていう話になっていて、
0:56:46	この△法等③の児童領域のは、
0:56:51	工数決めましたよと考慮しないっていうきましたよっていうのは全然何かリンクしてなくて、
0:56:57	ここはちょっと理解できないっていうのが二つ目です。
0:57:01	まずこの1.目と二つ2点目のに関してですね、どういうふうに解釈していいのかってのは説明いただけますでしょうか。
0:57:13	中国電力の読みユリです。先ほど御指摘いただきました。2点ですけども、まず1点目の
0:57:21	右側のイメージ図に関連した事実確認ということなんですけども。
0:57:27	磯崎さんおっしゃるように柔道領域につきましては、これはイメージ図というよりは、実態こうなるということで、ちょっと記載しておりますので、ちょっとわかりにくい記載にもなっているかと思しますので、ちょっと記載の仕方はもうちょっとわかりやすいように
0:57:45	修正したいと考えております。
0:57:48	2点目の話なんですけども。
0:57:52	DNた言う方から我々が行っている滑り安全率算定への踏まえた内容というか繋がりがわかりにくいといった指摘と理解しております。
0:58:05	完全にリッターユリという方法を採用して計算したわけございませんで、先ほどの御説明と重複するんですけども。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:16	①番に書かれているへと地震時慣性力につきましては、これは Δ 方には考慮されていないものなんですけども、保守的にどう Δ 法の算定方法を使って、水平鉛直方向ともに考慮するような計算を行ってございます。
0:58:34	レター有放は基本、
0:58:37	分母のところの滑り面上のせん断力って書いてあるところは考慮しながら抵抗力を減じるような計算になっておりますので、
0:58:46	摺動領域では、この Δ 法の考え方を採用しまして、
0:58:50	せん断摩擦力については保守的に液状化するものとしてゼロにしてございますが、せん断力については考慮するようなやり方になってます。これが②番でございます。
0:59:02	③番では Δ 法では手動領域と同じような考え方で、えっと摩擦力は減じるんだけど、せん断力は考慮するっていうようなやり方なんですけども。
0:59:15	こちらも独自の考え方で保守的にせん断力っていうのが、このイメージ図で書いてある通り、実際は
0:59:24	寄贈起動する左側の向きに対して抵抗側に作用するようになりますので、こちらを保守的に考慮しないと、せん断抵抗力も考慮しない、そういったやり方をしております。
0:59:36	ちょっと繋がりがわかりにくいのでその辺をわかりやすく記載を見直したいと考えております。説明は以上です。
0:59:45	規制庁エザキです。
0:59:47	もう少しですねここは少書いたほうがいいんですけども。
0:59:51	実際にはその実態としてそういうふうになるんだという話は、時どのように説明するのかがどこにファクトがあるのかっていうのは、
1:00:02	現実的な応答で話をすると難しくなりませんかっていうのが一つなんですけど、
1:00:08	例えば
1:00:14	自動隆起に関しては、例えばフラッシュが出てきた結果からすると。
1:00:19	例えば、
1:00:20	児童領域っていう形にはなってなくて、逆に言うと、右から左に地盤は変形していて、
1:00:29	あたかも建屋を
1:00:30	ヒップ牽引していると引っ張り引っ張っていると、左方向に現実的にはそういうことはあり得ないんで。
1:00:38	そういったような変形、
1:00:41	に関しては、実際には滑動力、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:45	というものに関しては無視し得るんじゃないかと、実際液状化したんだろうは水が、
1:00:51	ね、そういうような変形するわけないので、その部分に関しては、作用力として、滑り面とか等に影響するものではないっていうような説明などを少しわかるんですけど。
1:01:03	それはなんか
1:01:06	児童領域だから逆に逆になってるよっていう話っていうのは、論より証拠で、何らか
1:01:12	示せないとわかりにくいんじゃないかなと思うんですけど、いかがでしょうか。
1:01:22	はい、中国電力のユリです。江崎さんおっしゃる趣旨は理解しましたので、ちょっと逆向きに作用するから考慮しないっていうのわかりづらいと思いますので、その辺をいただいたコメントを踏まえまして、内容を修正したいと思います。
1:01:36	一方でここに記載している。内容につきましては、静的震度を踏まえると、当逆向きに作用するようなことも補足として記載したいと考えております。以上です。
1:01:48	規制庁のエザキです。今やられてるのはあくまでもつばフラッシュでモデル化して検討されているわけですね。その結果をもってしてそういった整理で評価できるのか、こういう自動領域っていうのはですね、そこも含めてしっかりですね、何かそういう
1:02:04	可視化して説明いただかないとなんか説明性がちょっと不足してるなと思います。
1:02:10	それと 26 ページ、三つ目なんですけど。
1:02:15	26 ページが、何か論理矛盾してるなって感じがしていて、多分ここにいる岡野審査官はそう思っていて、
1:02:22	多分この 27 ページのほうの絵の手動領域、
1:02:27	等を 26 ページの今言ってるドーナツわかってるとかいう話してるけど、この三角形のくさびですね。
1:02:35	右側のほうのここって指導領域じゃないですか。そうすると、やはり天気浄化したとしても、その活動領域って考えなきゃいけないし、確かに。
1:02:48	どうです
1:02:49	わかると思います。
1:02:51	だけどそれがすべてではないですよと。
1:02:54	いわゆる、なぜかそういうことを私が言うかっていうとフラッシュでは液状化してないから構成がゼロになってるわけではないので、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:02	全部それ以上のこの
1:03:04	慣性力の重さに関係するものがですね全部好調併記に全部
1:03:09	負担させてる状況にないわけですね、いわゆるある程度基本的な構成持つてるんで、漏れの部分が、それが自立しているかのように変形はしていますけども、
1:03:21	いわゆる相互作用動的相互作用っていうのは基本的に地盤が自分で保有するエネルギーとも取りかかっていくエネルギーと二つに分かれるわけで、まだこの
1:03:32	もうフラッシュの中では完全液状化させたという状態の計算をしているわけではないので、
1:03:38	基本的にはこの活動力が全部
1:03:41	傍聴併記に採用している。
1:03:46	状態にはなっていないので、
1:03:49	すべて
1:03:51	くさび状のその慣性力がドーナツ化調整どうどうガスとして傍聴平均に作業してるっていうのは、
1:04:00	うん。
1:04:01	割と
1:04:03	簡単な設計をした。
1:04:05	経験者であれば、気づいてしまうような話だと思うので、ここはちょっと矛盾してるように感じるので、ここはちゃんと
1:04:13	実態的にどうあるべきか。
1:04:16	この 26 ページの 27 ページを見てしまうとか 26 ページが何か論理矛盾してるなんて、普通のシステムを持つちゃうと思うんですが一般の人でもそのぐらいのレベルだと思うので、ここはもうちょっと
1:04:29	考えていただきたいなと思いますがいかがでしょうか。
1:04:46	はい、中国電力のユリです。
1:04:50	考え方としては 26 ページ 27 ページに記載している通りですけど、
1:04:55	当社られた内容を踏まえまして、ちょっと再検討してみたいと思います。以上です。規制庁ですけど、もう何度も同じことをやっているんで、
1:05:05	ちょっと確認して欲しいんですけど。
1:05:08	多分、後ろのほうで主要力って出てるを見ると、基本的にはこの伊方のところの主要力ってそれなりに応力出てますから、多分残存能力って結構あるんですね構成がある軟化した都市制度もフラッシュの中でも、あそこも含めていってはそれなりに

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:05:25	滑動力あると思うので、そのかつこの今破線西 26 ページが、
1:05:31	専念しているところの滑動力は、
1:05:34	27 ページと同じように扱いをして、
1:05:37	検討した場合のテーブルになるっていう
1:05:41	のはある程度確認する必要があると思うんですが、いかがでしょうか。
1:05:52	はい、中国電力の風間です。そういった応力レベルのチェックはまだできておりませんので、そちらについて改めて確認させていただきたいと思います。
1:06:02	規制庁のエザキです。はっきりいって、できるできてないじゃなくて、実際に計算なされた方がいいと思うんですが、いかがですかもうあまりあれな時間もですねも同じことをずっと繰り返しているの、こちらのほうも同じことをずっとやってるわけでもいかないので、はっきりと
1:06:19	白黒つけていただきたいんですがいかがですか。
1:06:21	計算しまして、ちゃんと確認はされてるんですか。
1:06:25	中国電力としては、
1:06:28	中国電力の岡島です。早急に計画に計算例の結果を確認させていただきたいと思っております。以上です。
1:06:40	規制庁ナイトウですけれどもね。これ基本設計ないしは基礎基本設計方針だから保守的に十分保守的なものをやり方でもってエイヤでやりますと、いわゆるいやのやり方でやりましたっていう説明もあり得るんだけど、
1:06:55	あり得るんだけど、それにあたっては中国電力としてきちんと数値を持っていてこういう嫌でも十分保守的なものでできてるんですけどっていう裏取っというもらわないと我々として、うんとなかなか言えないので、そこは、
1:07:14	よく整理してください統計より緻密に計算すればいろんなやり方はあるんだけど、じゃあより緻密にやらなきゃいけないのかと、この今の段階で、
1:07:25	と言うと、機密じゃなきゃいけないということではなくって、ある程度きちんとした評価ができるやり方でいわゆるやり方でやりましたっていう説明もあり得るんだけど。
1:07:37	どっちの方法でいこうしてるのかが、まずは中国電力として閉めていただいて、その上でいわゆる保守的なやり方で十分保守的なんですっていうんだったらそういう説明をしてもらえばいいし、ある程度緻密な計算をした上でやるっていうんだったらそれを示してもらおう。
1:07:56	必要があるし、どっちでいくのかまず補修きちんと決めていただけませんか。
1:08:04	はい、中国電力の鹿島です。承知いたしました。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:08:18	規制庁エザキですから、もう1点ちょっと忘れてました229ページですね、ここで参考まで有効応力解析っていうことで確認してますかということ今回してたんですが、ステータスはあくまでも
1:08:31	もう今全応力でやった、いわゆるフラッシュでやった結果で、
1:08:36	右に、
1:08:39	図のですね、緑の破線のところの滑り安定性種結果1.61を
1:08:47	近江の妥当性を確認する目です。一応参考として載せてると理解していますが、その通りでよろしかったですか。
1:09:16	規制庁のエザキですが、今の問いかけて聞こえてますでしょうか。
1:09:22	この
1:09:25	すいません中国電力のユリです。
1:09:28	基本的に先ほどもおっしゃった通りでございます。以上です。
1:09:36	規制庁の義崎ですが、であればですねちょっと私が言うのは変ですけども。
1:09:41	ちょっとこのステータスとしてこの
1:09:43	記載さ
1:09:46	の仕方っていうんですかね資料のつくり込みがちょっとそうには見えなくなってますんで、その辺はちょっと
1:09:52	気をつけていただきたいなど。
1:09:54	思いますがいかがでしょうか。
1:10:05	すいません中国電力のユリです。
1:10:08	そういうつくり込みをしたつもりでの資料になっているんですけども。
1:10:16	結論のところでもう少しそういった内容を記載すればよいという理解でよろしいでしょうか。すいません。
1:10:22	規制庁ナイトウですけれども、ここね、資料をする波見ると228ページで、
1:10:29	保安院のやつで貴族範囲がないものやつ投影と滑り9旧表土滑り面は評価をしていますと、滑り安全率を平均強度でやりました。
1:10:41	り、次の229ページに行くと、いや、そうは言いつつも液状化をするところを考慮するときに全応力解析と参考とは書いてるけど有効応力解析であって、有効応力解析のほうが小さい値を示します。
1:10:55	となっていて、次の230ページに行くと、なぜか1.43の話がきて、全応力で
1:11:04	皆すべるで1.612ばらつきを考慮したやつをやりました。
1:11:09	1.2を満足してますっていう流れになっている。
1:11:14	この229ページは、どういう位置付けなの。
1:11:19	この資料構成だとよくわからない、この今このままの資料構成で行くんだつたら229ページは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:11:25	あれですよ。
1:11:26	解析結果として性であるっていう構成になってるんだけど、生ではないんですよ。
1:11:32	位置付け、
1:11:33	参考だった。
1:11:35	ていうなったら、
1:11:36	ここじゃないんじゃないんですかって言う
1:11:44	中国電力の記述おっしゃってる趣旨理解しましたので 220、29 ページとは別のページの資料でとばらつきの強度の後に参考として資料化したいと思います。以上です。
1:11:59	97 ですけど、論理皆さん論理構成を確認したいんだけど、228 ページで 0.95 の範囲が入らない形でやったやつと、230 ページで、そこが入る形でやった滑り安全率の考慮を比較した結果、
1:12:17	当滑りEと 0.95 以上の範囲を入れた滑り安全率の方が平均強度としては日々安全率が小さくなっているんで、これに対して 1 のばらつきを考慮しました。
1:12:34	っていうのが、本方針なんだよね。プラスでこれの 0.95 のところのやつ全応力解析が十分な計算ができてるかどうかっていうことで、有効応力解析をやったんだけど、ちょっと数字が小さくなるけども同じような数字として、
1:12:53	1 点量は待っているから十分な 1.61 で十分な結果が出来てるんだっていうそういう論理構成ということでいいですか。
1:13:04	中国電力のイソダのおっしゃる通りでございますので、そういうふうに資料を見直したいと思います。以上です。
1:13:12	中国電力シミズですが、追加ですみませんあとまあ若干補足させていただきますと、まず 229 ページでやる目的ですね、今のために有効力解析というのをやっているのかということと、その扱いをですね、しっかりわかるような資料構成にさせていただければと思います。以上です。
1:13:33	規制庁エザキですからちょっと教えてくださいっていういわゆる事実確認です。229 ページで、この有孔の解析 3 行書いてある 1.43、
1:13:43	を求めた方法論なんですけど、安定案と
1:13:48	滑りが安全率ですね、の計算方法なんですけど、
1:13:52	ここは有効か提起なので、あくまでも液状化の影響も含まれて、
1:13:58	液状化した剛性 0 になるということも考えてですね。
1:14:02	評価するので。
1:14:04	例えば左にある図の
1:14:06	緑の実線から破線のところまで、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:14:09	基本的には
1:14:12	活動力対応力に関しては考慮していて、それで当然
1:14:18	水色になった部分ですね破線になったところは、液状化したとみなしてますから、強度を0として計算しているというふうに解釈したんですが、それでよろしかったでしょうか。
1:14:32	はい中国電力のユリです。おっしゃる通りでございまして、当※4の検討方法のところにも滑り面上もせん断等抵抗力をゼロというのは記載しているんですけども、せん断力を考慮している記載がございませんので、そちらを記載するようにしたいと思います。以上です。
1:14:49	規制庁のエザキです。今の話で、ようやくわかりました通常でいえば詳細解析である用解析をやるやっぱ全応力よりも、
1:14:59	同等かそれより安全に数はよくならない不ふう
1:15:03	おかしいなと思ったんですが、来液状化と言っても、そちらではもう
1:15:09	確かサイクリックモビリティ、
1:15:12	的な挙動をしていて、いわゆる
1:15:16	過剰間隙水圧は高くなるけども、
1:15:19	いう抗力残ってるよというこういうORCA残ってるってことはこのブルーの部分は各通学から液状化していったら構成がゼロになってますから、さらに努力もゼロになってるはずなんですけど、実態有効か主婦もFLIPも
1:15:33	多少なりともORCA残っているの、どうしてもその部分の作用力を
1:15:38	加算してしまうと、全応力もちょっと計算都庁フリーな状態になっていると。
1:15:44	安全にして保守的なんだから全応力も保守的な計算になっちゃっているの、
1:15:53	1.43 ということで 1.6 カ一定誤差で役に立つ率が小さくなっちゃった。
1:15:58	というふうに解釈すればいいのかなと思ったんですけど、そういうことですよ
1:16:06	はい、中国電力のユリでございまして。おっしゃる通りでございまして。
1:16:10	以上です。
1:16:18	規制庁エザキですが、実際ね、これもでて液状化させてっていうのを計算する必要なんて全くないと思いますし、
1:16:28	実際ここに関してはですね、今言った話で、こう考えればうなずける結果で実際に液状化すれば、あまり変わらないっていうことまでは言い切れないかもしれないですけど、そこまである程度感じれるようなレベルがですね。
1:16:44	感じ取られるような書き方までちょっと分析とか考察とか変えていただいたほうが 1.461 から 1.43 に落ちた。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:16:54	ことが問題視するべきものではないってことも理解できますので、それはちょっと丁寧に変えていただけませんか。
1:17:05	はい、中国電力のユリです。おっしゃる通りなの分析と考察を加えたいと考えております。以上です。
1:17:18	規制庁のエザキですが、それについて、ちょっとそちらの考え方だけちょっともう1回確認したいんですが、
1:17:24	27ページのお話ですけども。
1:17:27	この27ページのこの児童の域っていかすべてじゃないかもしれないけど、大半が何か。
1:17:34	例えば2号機能を建屋の周りであれば、
1:17:39	海水ポンプがあるところですよと。
1:17:42	結局、地盤ではなくて、実際に安全側の評価するために、
1:17:47	要するに置き換えちゃっているんでそれは設計条件としてるからこうふうにやっておられるっていうのは、
1:17:52	評価としてはあり得るんだけど現実的には、
1:17:56	うーん。
1:17:58	人がなくて、
1:18:02	c格好です。要はSsに耐えうるような施設が隣接していると土に置き換えてるってことだけであって、本来であれば、現実的にはそこではそういうような滑り力は活動しないんだけども、そこに関しては、あくまでも設計条件、
1:18:19	としてこういうものも織り込みも取りかえするというのは、前提条件にしていることだからとりあえずこういうような評価しているというのが中国で力の考え方がということで理解してよろしいですか。
1:18:35	中国電力のほうでございます。おっしゃる通り、2号原子炉建物の例えば北側にあります取水槽でしたら地中構造物につきましては盛堂で保守的に森どかして当モデル化してたりといったことをしておりますので、
1:18:49	おっしゃる通りでございます。以上です。
1:18:53	規制庁のエザキです。理解しました。
1:19:08	規制庁の服部です。1点確認させてください。
1:19:13	165ページをお願いします。
1:19:17	この下のところの括弧ア四角の中で確認します。
1:19:22	この中の記載というのは、
1:19:25	暫定的な結果である三次元浸透流解析によって
1:19:32	2号炉南側も里道斜面では、
1:19:36	矩時に付近に地下水があったので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:19:39	6.4 章に行って
1:19:43	液状化範囲を設定する。
1:19:46	というふうに読めて、
1:19:47	もし、
1:19:49	この暫定的な三次元浸透流解析を根拠として、
1:19:54	地下水がのりG付近になかったら、6.4 章のような評価はしないと。
1:20:02	というような解釈でよろしいでしょうか。どうぞ。
1:20:11	中国電力のユリでございます。三次元浸透流解析の地下水をある程度の指標というか、しております、例えば 44m 盤では三次元浸透流解析の地下水を見たときに、十分低いような結果になっておりましたので、
1:20:28	こういったところは液状化しないものとして判断しておりますし、
1:20:33	当斜面に目を移したときにのりじり付近に地下水があるということで、
1:20:38	それを詳細に検討するといったことでございます。のりリリース付近よりもかなり福井低いところに例えばとしてあった場合は、それを踏まえて検討したいと考えております。以上です。
1:20:52	規制庁の服部です。6.4 章では、
1:20:57	えっと保守的にへのリリースの理事のほうは地表面乗り方の方も境界部において地表面に設定しても井戸の中の地下水がどうなってるかということを二次元浸透流解析で解析していると。
1:21:13	というような評価になっていて、
1:21:15	それは今回
1:21:19	163 ページで
1:21:23	耐震重要施設等に影響のある斜面というのが、そこでスクリーニングされて一向になっちゃってるので南側斜面だけになってしまっている、結果的に往來のように見えるんですけども、
1:21:35	例えば今の南側斜面のちょっと北側にある影響範囲が防波壁にぎりぎりのところ、これがもし防波壁にあったとしてまで影響するとして、ここも 163 ページで選定されて、
1:21:52	新三次元浸透流解析の結果、地下水が低いよということになったら、そこは、
1:22:00	その森度は無理か。
1:22:03	乗り方等の理事の地下水位を地表面に設定したような指定森道内の地下水をどうなってるかという検討はしない。
1:22:16	というような評価になるんですか。
1:22:19	ちょっと私のイメージとしては三次元浸透流解析の評価にかかわらず、
1:22:27	影響のある森と斜面というのは、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:22:30	すべからく6.4章のような二次元浸透流解析によってもりどないの
1:22:40	地下水位を評価して、
1:22:42	その結果に応じて、その次のステップ、
1:22:49	代表断面の選定ですかね、ここのステップに行こうというふうにならずにずっと思ってたんですけども、そうじゃないという理解でよろしいでしょうかどうぞ。
1:23:06	すいません。中国電力のユリでございます三次元浸透流解析の地下水をある程度指標にしてございますので、それを用いてまず大枠の判断をしたいと考えておりますけどこれ結果になるんですけども165ページ見ていただきますと、
1:23:23	先ほどおっしゃられました33m盤の斜面ということで、
1:23:29	左側の12号エリアで言うと、数字のほうから書いてある辺りなんですけど、こちら地下水としては塗り付近まであるようなものになっておりますので、こちらを検討する際は2号炉南側無理だと同じような
1:23:44	考え方をしていかなければならないのかなと考えております。以上です。
1:23:50	規制庁の服部です。その結果論は確かにそうなんですけど、ちょっと私が確認したかったのは、今回はそういう評価にはなるので結果的にはオーライなんですけれども、
1:24:04	その他の森の斜面を見たときに、
1:24:07	あくまでも三次元浸透流解析が正しいものとして、
1:24:11	6.4章の評価をするかしないかを定めるんですか決めないんですかということなんですがいかがでしょうか。どうぞ。
1:24:28	はい、中国電力の鹿島です。先ほどのユリの説明と重複いたしますが、三次元浸透流解析の結果も指標の一つとして考えておりまして、今後のアクセスルートの斜面の中でどのような審議の中ではですね、今おっしゃられた斜面も評価対象の中にあがって参りますので、
1:24:46	その中ではどういう形で評価していくかっていうのは今検討はしておりますけど、この該当する33メートルの斜面をですね、土俵に上げたもので評価していくことになろうかと思えます。以上です。
1:25:00	規制庁の服部です。事実としてはわかりました。確認ができました。わかったとは言いませんが確認ができました。私からは以上です。
1:25:51	規制庁のサグチですけれども、
1:25:54	ちょっと教えていただきたいんですけど。
1:25:58	今回、
1:26:00	資料全体として、
1:26:03	液状化の影響を考慮した場合、
1:26:06	どういう形で、資料まとめられたと思うんですけど。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:26:11	そうすると、多分以前も私 1 回聞いたと思うんですけど。
1:26:16	いわゆる周辺地盤の変状の話ですね。
1:26:19	具体的に言うと 4 層になると思うんですけど、これの位置付けが、
1:26:25	ちょっとよくわからなくて、今の資料の流れとしてはですね。
1:26:31	特に 100
1:26:33	40 ページかな。
1:26:36	いろいろ書いてありますけど、最後に、
1:26:40	なお書きで
1:26:44	周辺地盤の変状を考慮した場合においても、施設の機能が住まわれる恐れがないように設計するってあるんですけど。
1:26:53	これって具体的にどういうことをおっしゃってるんでしょうか。
1:27:05	中国電力のユリでございます。
1:27:12	施設自体の耐震評価ということで記載をしております。
1:27:16	規定へと周辺確認の意味の記載でございます。以上です。
1:27:21	サグチです。今これずっとそのあとの 140 ページ以降見ていくと。
1:27:28	143 ページからずっと 1、
1:27:32	であって、これ基本的には液状化や揺すり込み沈下を起因とすると沈下は生じることはないって、これすべてのページに書かれていて、
1:27:44	そうすると、これって結局、前でやっている参照とかの
1:27:50	評価
1:27:51	いうのはもう一切関係なくてもここはもう単独で何故かっていうと、これはもう岩盤とかに指示されているのでっていうだけ。
1:28:01	のように今、資料はなっているんですけど。
1:28:04	実際のところ、
1:28:07	これはもうそれだけなんですかそれとも参照のこういう評価なんかも受けた上で、
1:28:15	言われているのかというところをちょっと教えてください。
1:28:30	中国電力のユリでございます。今現在の 4 章の評価の内容としましては、先ほどサグチさんがおっしゃった通り、対象施設基礎地盤を見たときに、岩盤で構成されてませんで、
1:28:46	基礎地盤の液状化、揺すり込み沈下を起因する不等沈下は生じることはないといった旨の
1:28:53	記載になっております。以上です。
1:28:58	はい、サグチですけれども、
1:29:00	はい、南米そこがちょっとよくわからないですよ。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:29:05	これはあくまでも資料の流れ場の話なんですけど。
1:29:09	あくまでも今回は液状化の影響を考慮した。
1:29:15	場合の、もう評価実施するという形で資料を作成されていて、そうすると、3相で言ってることを4相で言ってることと、若干矛盾があるのかなのか。
1:29:29	本当に基礎も底面だけが
1:29:33	岩盤に支持されていればいいのかどうか、実際にその参照系は、そこを滑り線を設定して住めるかどうかという評価もやっているの、当然これは進めれば、当然、浮上がりだったりそんなことは多分起こるはずなんですけど。
1:29:49	それで、今参照が結局この4章に関係するのかどうかというのをちょっとお聞きしたんですけど、今のお答えだと思ふ参照とかは一切関係なくて、4章はこれは独立でやっていると、そういうお答えだったと思うんですけど、そういう理解でよろしいですか。
1:30:36	すみませんちょっと今の中で話しておりますので縛る困ってください。
1:32:18	規制庁サグチですけど、
1:32:21	とりあえずですね、先ほどいろいろこういろいろなんていうんですかね、お話があって、多分資料で修正をされると思うんですけど。
1:32:34	なので
1:32:35	ちょっと今すぐにお答えできないようだったら次回で構いませんので、
1:32:41	ちょっとあくまでも資料の
1:32:44	全体の構成としてはどうかというところでちょっと
1:32:50	考えていただければと思いますので、よろしくお願いします。
1:32:56	中国電力の清水です。先ほど140ページなんですけども、1、1行目と一段落目ですね、ここにつきましては基準Aと構造物の周辺の液状化とか、そういったことを考えても、この資料に規制記載しております通り、
1:33:15	重大な影響を受けないということはこの中で御説明しているというふうに考えてます。なお書き以降につきましてはこれ施設側の話でございますので、今現在水稲決まりましたので今後詳細設計段階です、こういったものの影響を考慮したものでお答えするという認識でございます。
1:33:33	その辺りがわかるように、資料化してみたいと思います。以上です。
1:33:42	はい、サグチですけども、であればですね、今書かれているのはこれ設計方針の話なので、ここで書いていただいてもいいんですけど、設計方針のところで御説明をしていただくっていうのも一つ手かなと思いますので、いずれにしてもちょっとその資料構成含めてですね。
1:33:59	どういうことが本当に今の我々の分野の必須条件なのかっていうのを考えてちょっと資料を構成していただきたいと思いますので、よろしくお願いします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:34:14	中国電力シミズです。紹介承知しました。
1:34:21	規制庁の伊藤ですけども、今の話によこの 140 ページは以下の字シミズ事項確認するっていう方針だから、この直の設計を、方針が書いているのがまずおかしいんですよ。
1:34:36	D
1:34:38	よく先行の事例でどういう評価しているのかってのはもうよく調べた上で皆さん、中国電力としてどうするのかというのは、
1:34:47	会社として残す決めて欲しいんですけど、柏崎みたいなやり方もあるし、女川みたいなやり方もあるし、
1:34:54	いろいろやり方はあるんですよ。
1:34:57	今見てる限りにおいては未皆さんのやり方で柏崎のときの防潮定のときに、東電が言った方針に近いような気はするんだけど、
1:35:06	そうであれば、
1:35:11	そうであるということをしっかり書いてもらわなきゃいけないし、
1:35:16	例えば、液状化を起こることを前提とするとっているんでしょ評価上はね。だからだから、まずは基盤を支えられるか、静水耐震重要施設で支えられるかどうかということについてきちんとやるけれども、
1:35:31	当じゃ周りが液状化したときに一番顕著な区域外殻部分なんだけど、杭基礎が液状化した場合もあれが結局コスト場合に幾ら岩着して支えられるような行動してても、杭自体が流動とか受けて強度を持たなければ意味がないからそこはちゃんと詳細設計で確認した上で、
1:35:51	必要があれば、議長が対策するとか、作り直すだっという話になるはずなんだけど、どういう論理構成なのかが何か。
1:36:03	はっきり書いてないから。
1:36:05	よくわからないっていうことなので、そこはよく整理していただけますか、会社としての考え方を
1:36:14	愛知中国電力シミズです。皆様方のご意見反映して資料化したいと思います。
1:36:23	規制庁ナイトウですよろしくお願ひです。さっき一つ前の話に戻るんですけど、このね三次元浸透流解析を正とします。
1:36:32	という説明なんだけど。
1:36:34	これっていいプラント側のところで議論するときにも、これを仮評価であって詳細のやつについては工認のところで確認をしますってなっていて、セットできてないんだけどセットできてないやつを根拠にされるという、そういう理解でいいですか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:36:54	はい。中国で力の鹿島ですねと、今の考え方としましてはこちらの水位っていうのも見た上で、また判断をしております。以上です。
1:37:08	いや、
1:37:11	今ちょっとあまり答えになってないんだけど、これを根拠にするんですか。
1:37:16	三次元浸透流解析の結果を根拠にするんだったら、我々がそれでいいというものを工認に先延ばししないでこの場を出して欲しいんですけども、
1:37:55	中国電力の鹿島です。先ほどナイトウさんのコメントを踏まえてですね、こちらの位置付け、
1:38:02	なんですよ。ここを設置許可の段階でですねはっきりと三次元頼らないような考え方でっていうところを改めて整理してですね、御説明させていただきたいと思います。以上です。
1:38:22	はい。
1:38:24	容そこはよろしく申し上げます。我々としてはこれ根拠にすると言われれば、これが妥当であるということを確認しなきゃいけないので、そこをどうされるのかってのはよく考えて考え方論理構成整理していただきたい。
1:38:38	思います。
1:38:40	利用とちょっと今日追加で出してもらったやつと、二次元解析のところ、
1:38:47	確認したいんだけど、三次元の時に降水量を 2400 にしながら二次元だと 1540 でやってるのは、
1:38:57	それは何で二次元は 1540 としてるんですか。
1:39:08	中国電力の清喜です。二次元浸透流解析につきましてはですね、下流側と上流側の出納固定境界ということで、降雨の影響三次元的な影響も含めて、結果を見ましたら評価できているものと考えております。
1:39:25	しかしながら報酬的ということで、その間に飽おくらせるということを行っています。その時の雨が 3 発電所で確認された 1500mm 程度おくらせているところなんです。
1:39:38	以前の資料でですね、雨を降らしたとき暮らしていないときの比較を載せていたかって言いましたが影響はつう数mm程度ということで、軽微であるっていうことも確認しております、ここ仮に 2400 億ぐらいあったとしても影響は
1:39:56	軽微なものと考えております。今保守的にということで 1500 を入れているところなんです。以上です。
1:40:10	規制庁ナイトウですけども、えっとね。
1:40:13	三次元浸透流解析をやるにあたっては、でしょ。ええと発電所のやつではなくって末でのやつでもって平均とって一応戻ってさらに寄与変動気候変動も踏まえた数字でもってやりますっていう考え方をされ、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:40:29	てるわけですね。Dですがそれはそれでいいんだけどもまでもあくまでもこれセットできてない三次元浸透流解析の結果なんだけれども、今回液状化の範囲を班員が判断するっていうのは二次元解析でやって、
1:40:47	b決めてるんだけど、二次元解析のときには 1540mmでいいとしているのは何ですか。なぜですかってことなんです。
1:41:03	中国電力の清喜です。
1:41:07	資料の 209 ページですが
1:41:10	はい、同じような説明になってしまうんですが今は主にはそういうと固定境界で評価できていると考えておりましたが、ご指摘踏まえまして、
1:41:22	三次元浸透流解析の好条件に合わせることに含めて検討したいと思えます。以上です。
1:41:37	規制庁ナイトウですけど直す直してくださいって言うてるんで解析して教えてくださいって言うてるつもりはなくて、皆さんが 1540 でよいとした理屈は何ですかって聞いているんですけど。
1:41:52	中国電力の関です。1540 でよいとしたほんとはつきましてはですね、
1:41:59	解析結果のほうも踏まえて評価をしております、解析結果のほうを
1:42:08	216 ページのほうに解析結果のほうの評価のほう一覧でまとめております。
1:42:17	216 ページの初めのところでございますが、流域からの修正及び谷筋からの流入による影響ということで、この二次元浸透流解析の検討用地下水では地下水位低下設備の機能期待しない場合に三次元浸透流解析による、
1:42:35	地下水を上回っているということを確認しております。
1:42:38	この三次元浸透流解析といいますのは先ほどの 2400mm送らした結果でございます。
1:42:44	こちらを上回っていることから、これにさらに雨を降らせるということになりますので、そのときには発電所で
1:42:53	振りました補正 500 ミリっていうのをことになりますので保守的に見ているっていう、そういった考えでございます。以上です。
1:43:03	起立をナイトウです。いいかどうかは別として、2540 で良いいとしたっていうところは三次元浸透流解析の個数と違うので、なぜ二次元は 2540 で 1540 で置いといたのかっていう考え方はどっかにしっかりと書いて欲しいんですけども、よろしいですか。
1:43:23	中国電力の関です。承知いたしました。
1:43:38	規制庁ナイトウですけども、所これ細かい話なんだけど、142 ページから以降はね。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:43:48	143 ページもそうかでいいんだけど、これってさ代表施設で見てるわけじゃないですよ。
1:43:57	地質状況って、
1:44:00	液状化揺すり込み沈下をきつい
1:44:02	不等沈下が生じる恐れはないっていうのは、
1:44:05	評価対象施設全部を見ているんですよ。
1:44:11	追加いいですか。
1:44:16	はい中国電力のユリです。おっしゃる通りで評価対象施設すべての地盤について断面を複数聞いて確認した結果になっております。以上です。
1:44:26	はいであればこの図面の中にある代表施設って何を意味してるんですか。
1:44:38	中国電力のユリです。4 章において代表施設という意味はあまり、あまり成しておりませんので記載については修正したいと思います。以上です。
1:44:49	規制庁内藤ですよろしく願います。あとは、
1:44:53	551 ページ。
1:44:56	李確認したいんですけども、これ、宍道断層のやつでいいと、左下のところに、
1:45:06	ポツが二つあって、上端深さにおいては津波評価の考え方を参考に、上端深さ 0km にした。
1:45:15	ということなんですけども。
1:45:18	これ津波評価の考え方を参考に、なんで 0 にしたんですか、食い違い弾性論で評価をするという話と、津波評価の考え方って津波の考え方、違う。
1:45:31	だけど、
1:45:32	どういう考え方に津波評価の津波評価の、どういう考え方を参考にした上でゼロにしたんですしたっけ。
1:45:47	中国電力のユリでございます。地殻変動として上端深さ 0 にする方が保守的だという考え方で変位が保守的になるという考え方でゼロにしておりますが、その辺のちょっと考え方をもう一度確認した上で詳細に記載したいと思います。以上です。
1:46:13	規制庁ナイトウですけれども、
1:46:16	ちょっと僕ももうよくもう 1 回考え直さないとわかんないけど、
1:46:21	上端不上端まで全部動くとする断層直近のところは厳しくなるけれども、逆に言うと、離れれば厳しくなくなるんじゃないんですしたっけ。
1:46:31	いや、
1:46:32	そんな希ガス T たので、
1:46:35	何で津波評価の考え方でやれば、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:46:42	っていうところがよくこの記載だけだと。
1:46:45	半分よくわからないんですけどもその辺も含めてよく整理をして記載を考慮してもらえませんか。
1:46:55	中国電力ユリですと1 承知いたしました。以上です。
1:47:00	規制庁の伊藤ですよろしくお願ひしますって、次の 152 ページなんだけども、
1:47:06	これもさっき見てて思ったんだけど、何でこの 3 連動のやつは津波の最大水位変化を出しているものだけをやれば、
1:47:22	敷地の
1:47:24	変位量。
1:47:26	5、
1:47:27	評価できるという考え方なんですか。
1:47:39	中国電力の清喜です。
1:47:41	詳細はまた改めて確認させていただきたいと思いますが、津波で水位上昇量が最大となるケースを選んでおりますので、新統より津波のほうでということ記載したものと思います。また調べて御回答させていただきます。以上です。
1:48:11	規制庁ナイトウですけれどもすぐ出ないということなので、そこもちゃんとわかるような記載をお願いできますか津波の水位が変位が最大になるからといって、敷地において変動量が最大になる。
1:48:27	ということがイコールではないはずなので、
1:48:32	そこよく考え方を整理してきちんとわかるように書いてもらえませんか。
1:48:39	中国電力の関です。承知いたしました。
1:49:13	すごいですけど、規制庁のエザキですけども、もう 1 点事実確認したいんですが、27 ページで、
1:49:20	とこの方とこういった記載があるのは存じ上げてますけども、
1:49:26	実際にこうした方法を採用したとこで今回島根が初めて
1:49:33	K認識してますかそれで間違いないですか。
1:49:41	中国電力のユリでございます。詳細に確認したわけではございませんけれども先行サイトの資料を見る限りは中国電力を初めてだと考えております。以上です。
1:49:53	規制庁です。振り替えしました。一つですねそれに伴って、
1:49:59	こんなこれで道路土工なので、
1:50:03	道路境界、
1:50:04	が監修もとだと思っんですね。
1:50:08	同じ相当協会が出している通り拳手を書

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:50:12	というものがございます。努力しようしよう中で、液状化の検討に伴って努力仕様書に書いてあるのはFL法というものでFL値っていうものを求めています。
1:50:26	そのFL値に伴ってですね。
1:50:29	ここ構造物の支持力を評価するための強度特性 c の値に関しては、そのFL値の値に対応して、その c の強度特性を低減して支持力を求めなさいって書いてるんですけど、発刊っていうか慣習元が一緒なのに、
1:50:46	まず方法論が違うのかなっていうのはちょっとここは理解できないんですか、この辺はちょっと説明いただけませんか。
1:50:56	中国電力です。ちょっと詳細を確認してみますけれども記憶なんですけども、この道路土工に書いてあるっていうと Δ 方につきましても、FL値との関連のグラフがございまして、
1:51:10	液状化しやすくなるとその Δ の値をこういう値にしますといった関係がグラフであったと思います。
1:51:20	で、それに伴って剪断ええと摩擦抵抗力を減じるような検討になってるんですけども、今回は保守的にも液状化したものとして、このせん断もさせて抗力をゼロにしているっていう、そういう次第でございますまた確認して御説明したいと思えます。以上です。
1:51:39	規制庁エザキです。その説明でですね、お願いしたいのは、
1:51:44	このFルール方が Δ 言う方もですね、分子の部分の一番左のですね。
1:51:53	資格を得るとか委託をいわゆる粘着力は提言しないということで努力し保証はN値に伴って増えたわけじゃなくて、
1:52:03	粘着力も低減したような記憶あるんですが、
1:52:07	そういった観点で、なぜその液状化したときに、摩擦力は落ちるけれども粘着力は残るのかって言うとアルゴリズムがよくわからなかったんで、確か虞仕様書は何か提言してしていたような記憶あるんですが、
1:52:24	その辺も含めてですねちょっと我々もこの新しい方法を理解する上で、
1:52:30	適用性があるのかっていうことも踏まえて考えないといけないと思えますんでちょっと説明、今後ですね説明いただけますでしょうか。
1:52:42	中国電力とする。承知いたしました。
1:53:01	規制庁タニです。
1:53:03	えっとですね、214 ページで、
1:53:07	私前回ヒアリングで確認したのが、
1:53:10	214 ページ以降で 300mm程度 306.9mmのを想定した地下水を予測したというのがなぜNo.9 で予測してるんですかといったことをこないだ聞きました。で、
1:53:25	これなぜ聞いたところで何%なって、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:53:29	岩盤の推移を見ているということで、No.炉森どの水位を見てるのNo.6 だからNo.6 で、
1:53:39	見ない理由っていうのを聞いたわけなんですけど、それに対して今回 246 ページで、
1:53:45	ナンバー6 もですね、同じように
1:53:50	水位と工業の関係っていうのをを出してるんだけど、ただここではNo.6 は予測まではしていないんですね、これなんか読んでみると決定係数がそう 0.66 程度で相関が低いっていうことは書いてあるんですけど。
1:54:10	そもそもリードの推移を見ているのはこのNo.6 なんだけれども、
1:54:14	懇No.6 ばらつきが大きいから。
1:54:18	大きいっていうだけで終わってるんですけどそのばらつきが多い大きいから。
1:54:22	No.6 で検討しないっていうのがですね、ちょっといまいち
1:54:28	私はこう理解できてなくて、その辺もし何か
1:54:34	補足で説明とかあったら聞きたいなと思うんですけど、いかがですか。
1:54:42	中国電力の清喜です。おっしゃっていただいた通りですね、補足説明資料の 246 ページに前回のコメントを踏まえましてナンバー6 でも同様に降雨とナンバー6 の推移の相関ということで整理いたしました。
1:54:58	ええっと 0.66 とナンバー7 で整理しましたところ、応答を地下水の相関が 0.8 弱程度ありましたことを比較してですね、低いということで、今回、
1:55:12	相関が低いために、それを使いまして既往最大降雨 300A6mmを想定するのはふさわしくないかと思い、今の塑性までは引っ張っていないっていうような状況でございますね。仮にですね、306 皆で非見ますとですね。
1:55:28	今このグラフで見ただきまして 150mmのところの水位を実践を見ますと 6 メーター程度となっております、これが倍程度になるっていうことで、12 メーター程度ぐらいまで上載蛇行を想定すると大森泥No.6 のところでは、
1:55:45	そういった線は引けるというところがございますね。No.6 につきましては地表面まで、そういうとて強化をしているところの中にありますので、町方面へTP 15 メーターを比べますと、まあ保守的なところにはなっているのかと考えております。
1:56:05	しかしながらこちらの資料では装荷が低いということを最初に至っておりますので、そういった想定との比較というものはそもそも行っていないというような結論としております。以上です。
1:56:17	規制庁タニです。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:56:20	さっき 246 ページのこの線をそのまま伸ばしていくとうって話をされてましたけど、本編の 214 ページでは、それを包絡するような形で引っ張っていてもオツケーみたいな話をしてて、ちょっと何か。
1:56:35	言われていることが何か統一していないと思います。
1:56:42	もうナンバー6 使わないんだったらす構内でももう少しですね、ちゃんと今説明されたことも含めてですね、資料に入れていただきたいし、そのばらつきが大きいからって話であればですね。
1:56:57	何かこの地下水の解析って何か実行雨量で解析してみたりとかですね、地下水の解析というか、雨量の解析ですね、そういった何かいろいろ手法あると思いますんでただ単にばらつきが大きいからってというのは、どうなのかなっていうのを、
1:57:15	感じています。私のほうは以上です。
1:57:22	中国電力の鹿島です。先ほどタニさんのおっしゃられたコメント燃えても、ばらつきを考慮したような検討持つということも視野に入れてですね、改めてこちらのほうデータ整理させていただきたいと思います。以上です。
1:57:47	規制庁の服部です。ちょっと 2 点ばかり簡単なことを確認したいと思います。
1:57:54	補足のほうの 76 ページをお願いします。
1:58:00	この左の図のところに旧表土の試料採取位置というふうに書いてあって、
1:58:06	15m盤のところに試料採取位置があるんですけども、
1:58:10	この 15 名 a15m盤に旧表土というのがあるとは聞いてないんですけども、
1:58:18	この 15m盤に旧表土っていうのはあるんでしょうか。どうぞ。
1:58:27	中国電力の楊井です。ちょっと確認していますけど、基本もともとタニ有名であったところには旧表土がありましてそちらを採集したというふうに記憶しておりますので、その辺わかるように資料化したいと思います。以上です。
1:58:45	規制庁の服部です。プラント側の審査で旧表土というのは、西側の貯水槽の辺りにこちら辺にしかないというふうに確認したところを聞いていますので、そちらとの整合も踏まえてちょっと確認だけしていただきたいと思います。
1:59:02	あと、
1:59:05	156 ページを
1:59:08	補足のほうの 156 ページをお願いします。
1:59:12	ここに
1:59:18	周辺への進行性破壊の検討ということで、
1:59:21	あと引張応力が発生した要素に対して、周辺の進行性破壊の検討しています。
1:59:29	周辺は、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:59:30	への進行破壊の検討の方法としては、
1:59:33	137 ページに、
1:59:35	えっとせん断応力に対する
1:59:39	もしくは引張多く発生した応力が連続して分布Cとあるんですけども、
1:59:44	この図の中ではせん断破壊した様相についての記載。
1:59:51	だけに見えるんですけども、引張破壊した要素に対してはどのような
1:59:59	静的線形解析による進行性破壊の評価をしてるんでしょうか。どうぞ。
2:00:11	中国電力の議決すみません先ほどご説明しましたの旧表土についてちょっと 1点補足させていただきたいんですけども、本編のほうの202ページ見ていた だきたいんですけども。
2:00:28	こちらにもうにごみ波が青森の断面を示しておりまして先ほど森いじり付近と いうのはちょうどボーリングで言うとNo.6 辺りにありますので、こちらの断面を 見ていただきましても現状は旧表土ございませぬけれども、もともとタニ分だっ たところに旧表土ございましたので、
2:00:45	そちらで試料採取しているという認識です。そちら辺りを確認した上で、詳細に 資料化しようと考えております。
2:00:54	で、もう1点目の補足説明資料137ページの進行性破壊の検討につきましては はですね。
2:01:02	ちょっとお答えになってるかわからないんですけども箱書きの上のところに 記載しておりますけども、せん断応力もしくは引張応力が発生した要素が連続 して分布する場合は、進行性破壊の有無を確認するという事で静的線形行 ってまして、
2:01:19	せん断破壊の場合でも、
2:01:23	破壊したことで、ピーク強度以上の能力が出た場合はそれを周りに配分する ような方法で行ってます。それが137ページで言うんですけども。
2:01:34	応力再配分前の図で言うと、真ん中にせん断破壊というものがありますけれど も、
2:01:40	こちら下を要素につきましては下側の応力再配分でポットピーク強度までモー ル円を小さくするようなことをして
2:01:50	カットの分は周りに配分して、すいませぬ引張応力についても同じような評価 を行っておりますのでこの絵でわかるようにしたいと思います。以上です。
2:02:01	規制庁の服部です。わかりました。
2:02:04	旧表土については、プラント側で今後評価するときに、
2:02:11	そこにその旧表土をモデル化するかどうかという観点も含めて、あるかないか をしっかりと説明していただきたいと考えています。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:02:21	あと 137 ページについてはえっとか、わかりました
2:02:29	引張応力は発生している場合はおそらくこのモール能力円が
2:02:34	横軸の 0 よりも左側に来る。
2:02:38	というイメージで考えていましたので、そうした場合にどういうふうに配分後になるのかなってというのがちょっとわかりにくかったので、わかるようにしていただければと思います。私からは以上です。
2:03:04	規制庁チギラです。すみません細かい記載ぶりでちょっと確認ですが、補足説明の 179 ページをお願いします。
2:03:16	178 ページから今回液状化を考慮しない場合の滑り安全率を参考に落としましたということで、この後続いていくんですけど、この 179 ページの箱書きのところなんですけど、ここで言おうとしている。
2:03:32	ことがちょっと
2:03:36	私最初に聞いたときに、詳細設計段階で何かやるのかなっていうことでちょっと誤解を受けたんですけど、そうではなくてこれは、
2:03:45	地下水が液状化を考慮しない。
2:03:50	そういった係数を参考として示すというのが、
2:03:55	周知であってこの最初の詳細設計段階においてっていうところの
2:04:00	この書きぶりがちょっと
2:04:03	誤解を受けるなと思ったんですけど、これはどういうことを説明しているのか。
2:04:09	お答えいただけますか。どうぞ。
2:04:20	はい。
2:04:21	すみません、中国電力のユリでございます。集合顔なんかあったんでわかりにくかったと思いますけどもの構造物の詳細設計段階において、地下水の議論があると思いますので、そちらで地下水が仮に低下したものが決まったとして、
2:04:39	その場合でも安定性が確保できるっていうことをねための
2:04:44	示すという意味で記載をしておりますのでちょっとわかりやすいように記載を見直したいと思います。以上です。
2:04:52	はい、規制庁GISがちょっとわかりやすいように 5 回位がないような形でですね規制のほうをちょっと検討いただければと思います。それとすみません、もう 1 点、これもちょっと記載なんですけど、300、補足説明資料の 311 ページ。
2:05:08	島根とですね柏崎の森度の比較の図面なんですけど。
2:05:16	ここはもう一度斜面ということで、と書かれました加工していて、ちょっと気になったのは、斜面高さ、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:05:25	なんですけど、そのときは岩盤からの高さを変えていって、時一方島根のほうはいわゆるのりじるとのりのり
2:05:35	のり方ですね、所を高さで引っ張っているんですけど、マツスエ基礎地盤に当たるようなところも守り度になっているので、その辺りのどんな
2:05:47	ふうな形で考えてるのかっていうことをちょっと確認したかったんですけど。
2:05:52	この
2:05:53	この数字番の部分の厚さっていうのは情報としてつい化したほうがいいかなと思ったんですけどその点についてどのようにお考えか説明いただけますか。どうぞ。
2:06:11	すみませんちょっと東北電力のユリでございます。おっしゃった基礎地盤の森だの厚さについてもこちらの比較表のほうに追記したいと思います。以上です。
2:06:20	はい、通常の違いです。情報があつたほうがつまらないことで、何かお話ならないと思いますので、検討のほうをお願いします。私から以上です。
2:07:00	通常のナイトウですけども。
2:07:02	今回の資料で売って確認したいのは大体、
2:07:06	このぐらいなんだけども、
2:07:09	D直すっていう話。
2:07:12	が結構多いんですけども、すみません大体僕皆さんの目標としてはどのくらいまで直される予定ですか。
2:07:33	少々お待ちください。
2:07:57	はい、アンチ電力の鹿島です。今日いただいたコメントを踏まえてちょっと追加解析の要否も含めてですね改めちょっと検討したいと思いますのでちょっとこの場でちょっと具体的な記述はちょっと申し上げられないので、また持ち帰った上で支社経由ですってお伝えさせていただきたいと思います。
2:08:15	できるだけ早く御回答を御提出させるように努めて参りたいと思います。以上です。
2:08:30	規制庁の伊藤です。わかりました。支社経由でという話なんですけども、大体いつぐらいにはどのくらいでっていうのが連絡をいただけるというふうに考えておけばよろしいですか。
2:08:49	早期に検討してできるだけ早めに公開とするようにいたします。すいません。
2:09:00	規制庁においてですけどそれ年末年始挟みますので、挟むスケジュールなのかどうなのかというところで全体スケジュール変わるの。
2:09:10	早めにとってというのを、が大体いつぐらいに当中国電力としてのスケジュール感を教えてもらうのか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:09:20	ていうのをちょっと
2:09:22	1週間ぐらいと考えていけばいいですか。
2:09:26	はい、中国電力の鹿島です。
2:09:30	スケジュールにつきましては、明日に御回答させていただきたいと思っております。以上です。
2:09:36	はい、わかりました。ありがとうございます。
2:09:54	規制庁クマガエです。
2:09:57	やはりいろいろと前内容確認できましたので、
2:10:01	これでヒアリングのほうを終わりたいと思いますけど中国電力さんから何かございますか。
2:10:07	中国電力鹿島です。特にございません。
2:10:11	はい。規制庁クマガエです。では本日のヒアリングにつきましてはこれにて終了したいと思います。ありがとうございました。
2:10:20	ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。